

木

THE ADACHI FOUNDATION
FOR THE PRESERVATION OF WOODCUT PRINTING

アダチ伝統木版画技術保存財団レポート

令和
3
年度版

版

① 研究等奨励交付事業 伝統木版画の制作技術に関する 調査研究等の奨励

本事業のうち、絵画部門(木版画の版下絵等の作品公募)に焦点をあてた公募(アダチUKIYO E大賞)の第13回目を既存の奨励賞募集と共に実施した。本年度も応募者のこれまで制作した作品を紹介するポートフォリオのみにより審査を実施した。公募の告知は、「コロナウィルス感染拡大の影響から、例年実施していた全国の美術館や主な美術系学校でのポスター・チラシの設置は中止とし、公募専門の雑誌やインターネット上での告知を中心に実施した。その結果、41件の応募があった。審査委員会にて大賞1件(奨励金総額30万円)・優秀賞1件(奨励金総額15万円)・佳作2件(奨励金総額各5万円)を選考決定した。受賞作品の2作品は、令和4年度に木版画として制作することを予定している。

- ◆第13回 アダチUKIYO E大賞受賞作品
 - 〈大賞〉賞金30万円+木版画として制作 神原太郎
 - 〈優秀賞〉賞金15万円+木版画として制作 沖谷晃司
 - 〈佳作〉賞金5万円 小林隆之 大久保如彌



Chikako Dives(Punk Rock)2019年大賞 神原太郎 ポートフォリオ作品から



赤いセーター 2021年優秀賞 沖谷晃司 ポートフォリオ作品から

- 〔選考委員〕
 - 小山 登美夫 ギャラリスト
 - 三井田盛一郎 東京藝術大学 美術学部絵画科 教授
 - 山下 裕一 明治学院大学 文学部芸術学科 教授 (敬称略、五十音順)
- 安達 以作 傘 アダチ伝統木版画技術保存財団 理事長
- ◆第11回 受賞作品
 - 各受賞者と打合せの結果、本財団の研修を終えた若手彫師・摺師により制作され、木版画として完成した。



完成木版画作品(第11回 大賞) 池田和宏「Astro Girl」



完成木版画作品(第11回 優秀賞) 諸星朋子「金魚すくい」

② 後継者育成事業 伝統木版画の制作後継者の 育成事業

総合的に高度な専門技術を習得させることを意図した「高度技術者研修」事業として本年度は、前期(令和3年4月)〜令和3年10月)に1名の高度技術研修生の研修彫師を実施した。また、第25期高度技術研修生を採用するにあたっては、令和3年6月から令和3年12月25日まで募集を行った。その結果13名の応募者があり、書類選考及び面接を行った結果、第25期高度技術研修生(前期)摺師1名の採用をすることができた。

- ◆第24期/高度技術研修生(前期/彫師) 山下真佳(22歳女性)
- ◆第25期/高度技術研修生(前期/摺師) 佐々木文寧(23歳女性)
- ◆技術研修所/東京都新宿区下落合3-13-17

③ 技術実演・研修事業 (1) 技術実演会

本財団では、木版画の制作現場を見学したいという多くのご要望に応えるため、本財団常設展示室で年6回の定期実演会の開催をはじめ、教育機関、美術館や博物館等の文化施設からの要請に応え、本財団スタッフ(解説員・彫師・摺師)を講師として派遣し「技術実演会」を実施してきた。本年度は、「コロナウィルス感染拡大の影響から有観客での実演会は、一切実施されなかった。一方、「コロナ禍での取り組みとして、サントリグループの学びのための社内プラットフォーム「寺子屋(TERAKOYA)」において、浮世絵版画の制作工程を紹介する実演をオンラインにて実施した。

また、本財団常設展示室において、平成9年10月から年数回第2土曜日に実施していた「浮世絵版画実演会」については、すべて中止とした。

◆サントリグループ「寺子屋(TERAKOYA)」でのオンライン実演講座

- 〔実施日程〕 令和3年9月29日18時〜
- 〔配信場所〕 本財団常設展示室
- 〔実施内容〕 摺師による浮世絵版画「北斎 神奈川沖浪裏」の実演と伝統木版画に関する道具や制作等の説明・質疑応答。
- 〔参加者数〕 約40名



実演配信風景



Zoomのコメント欄で多くの質問がされる様子

(2) 研修事業 職人に学ぶ木版画教室

木版画に強い関心を抱く一般の愛好家を対象として、初級技術の習得を意図した「職人に学ぶ木版画教室」は、実施回数、参加人数を減らすなど規模を大幅に縮小するとともに、会場のコロナウィルス感染対策を十分にしながら実施した。(2クラスから1クラスへ。36名の定員を10名へ縮小)参加者は講師の指導を受けながら、自作の絵をもとにした年賀状を木版画にて制作した。

- 〔日程〕 令和3年11月27日、12月11日
計2回開催/参加者10名
- 〔場所〕 本財団常設展示室
- 〔講師〕 彫師/岸 千倉(アダチ版画研究所所属)
摺師/鈴木茉莉奈(アダチ版画研究所所属)

インターンシップ型研修会

後継者育成事業の研修対象者を選抜することを目的としたインターンシップ型研修会については、「コロナウィルス感染状況を踏まえ、本年度は、11月に実施した。

- 〔日程〕 令和3年11月29日(1日間)
摺のみ/参加者3名
- 〔場所〕 本財団常設展示室
- 〔講師〕 彫師/岸 千倉(アダチ版画研究所所属)
摺師/京増与志夫(アダチ版画研究所所属)



木版画教室 彫り指導風景



インターンシップ型研修会 研修風景

④ 技術展示紹介事業 伝統木版画の総合施設として 制作技術等に関する資料の公開

本財団では、これまで、保存管理する浮世絵の複製版木(総数約1,200点)と多数の文献資料について、その整理をするともに、新たに伝統木版画の制作技術等に関する資料(道具・材料・制作工程等)の整備も行ってきた。木版画の総合施設として、伝統木版画に興味を持つ多くの個人や団体の方々から常設展示室に訪問いただいている。本年度は、6月に、企画展「北斎・広重の浮世絵に見るジャパンブルー〜波沢栄の生きた時代」を開催した。その際、「コロナ禍という状況を踏まえ、多くの方に本企画をお楽しみいただけるよう、初の試みとして、オンライン上でのバーチャルリアリティ(VR)展「日本語版/英語版」も実施した。また1月には、「職人に学ぶ木版画教室」作品展示会も実施した。その他、美術館および博物館などの文化施設で開催される浮世絵展にあわせて制作技術を紹介するために展示資料の貸出や体験用の版木制作の依頼を多くいただいた。

◆展示品および資料の貸出

- ・井上涼展 版画スリッパびじゅつ子館
- ・東広島市立美術館 令和3年4月〜6月
- ・映画「HOKUSA」紹介展示
- ・岡田美術館(令和3年4月〜6月)
- ・港区浮世絵さんぽ「関連プロジェクト」
- ・港区郷土歴史館ギャラリー(令和3年7月〜9月)



井上涼展 東広島市立美術館



映画「HOKUSA」紹介展示 岡田美術館

◆展示品制作依頼

- ・貨幣・浮世絵ミュージアム(令和3年10月)
- ・掛川市一の丸美術館(令和3年10月)
- ・独立行政法人国立文化財機構文化財活用センター(令和4年2月)

◆企画展「北斎・広重の浮世絵に見る ジャパンブルー〜波沢栄の生きた時代」

北斎や広重が活躍した時代の「青色」に注目し、現代の職人たちが制作した鮮やかな複製版浮世絵で迫る企画展を財団常設展示室にて実施した。また「コロナ禍の状況を鑑み、バーチャルリアリティ(VR)展を日英2ヶ国語で公開した。

- ・実施期間 令和3年6月22日〜8月21日
- ・実施場所 本財団目白常設展示室
- ・来場者数 約1500名
- ・VR展アクセス数 日本語1,145、英語2002



バーチャルリアリティ展画面

◆「職人に学ぶ木版画教室」作品展示会

令和3年11月〜12月に開催された初級技術研修会・職人に学ぶ木版画教室の参加者のうち10名の制作作品の展示を令和4年1月7日から令和4年1月15日まで本財団常設展示室にて行った。

⑤ 情報提供事業 伝統木版画の制作技術等に関する 情報の提供及び実践

本年度は、近年増加している、国内外で開催される浮世絵展でのDVD「匠達の技(和英二カ国語版)」の放映依頼をはじめとした、伝統木版画に関する多くの問い合わせを受けた。また、本財団が展開する事業の成果や活動状況を伝えるために「財団レポート木版」を発行し、一般にも無償配布を行った。

◆画像の貸出

- ・株式会社ベネッセ「1ポレーション」(令和3年4月)
- ・日本テレビ放送網株式会社(令和3年5月)
- 他約40件

⑥ 木版画制作監修事業

当該事業は、伝統木版画の制作技術の高いレベルで維持・継承するために、浮世絵版画の復刻事業だけでなく、様々なジャンルのアーティストの方々に絵師となつていただき、彫師・摺師とともに新たな木版画の制作監修を行うことで、木版画の可能性を追求するものである。本年度は、現在進行中のプロジェクト「現代の浮世絵・国際創造事業」の参加アーティストとして世界で活躍される田名網敬氏、花井祐介氏、ジェームス・ジーン氏の木版画制作を第一級の技術者によって実施した。また、賛助会員向けの進呈作品には、本財団主催の第11回アダチUKIYO E大賞の受賞者である池田和宏氏(大賞)、諸星朋子氏(優秀賞)に木版画のための作品をご提供いただき制作が行われた。

◆ 花井祐介「無題1」 (令和3年8月・制作)

〔画面寸法〕 天地550mm×左右640mm
 〔制作担当〕 彫／新實護允、岸 千倉、長谷川博美
 摺／鈴木茉莉奈、長沼翔太
 (アダチ版画研究所所属)



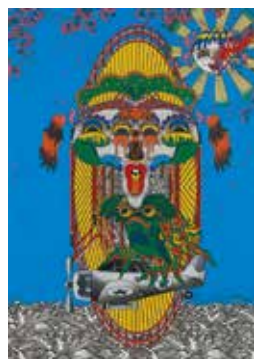
◆ James Jean「Chrysanthemum」 (令和3年6月・制作)

〔画面寸法〕 天地270mm×左右360mm
 〔制作担当〕 彫／岸 千倉 摺／岸 翔子
 (アダチ版画研究所所属)



◆ 田名網敬「また夢は始まる」 (令和3年9月・制作)

〔画面寸法〕 天地565mm×左右397mm
 〔制作担当〕 彫／岸 千倉 摺／京増与志夫
 (アダチ版画研究所所属)



◆ feebie「寿という獣寅」 (令和3年12月・制作)

〔画面寸法〕 天地230mm×左右260mm
 〔制作担当〕 彫／長谷川博美 摺／鈴木茉莉奈
 (アダチ版画研究所所属)



私たちの活動を支援して下さる方を募集しています。

賛助会員募集のお知らせ

本財団では、伝統木版画の技術を保存・継承するために、さまざまな活動をおこなっています。この活動を一般の皆様方より支援していただくために、賛助会員制度をもうけ、広く会員を募集しています。

- 〔種別〕 個人会員・法人会員
 〔年会費〕 個人会員 1口 2万円・法人会員 1口 10万円
 4～9月入会は翌4月末、10～3月入会は翌10月末までが会員期間
- 〔特典〕
- ◎木版画作品の進呈(1口あたり個人会員1点・法人会員5点)
 その年度内に制作された現代作家の木版画作品と新たに制作した版木、また本財団所有版木より制作された木版画作品の中から、希望の作品を進呈します。
 - ◎展覧会・定期実演会・版画教室などへの特別優待
 本財団が主催・協賛・後援をする展覧会、定期実演会、版画教室などへ特別ご優待します。
 - ◎常設展示場・情報センターの利用
 常設展示場における展示・資料文献などを自由に閲覧いただけます。



問合せ・資料請求先

(公財)アダチ伝統木版画技術保存財団事務局

東京都新宿区下落合3-13-17

Tel. 03-3951-1267 Fax. 03-3951-2137

E-mail: adachi@adachi-hanga.com

<http://www.adachi-hanga.com>

<編集後記>

令和3年度もコロナ禍であったことから、有観客での実演会は、実施できない状況が続きましたが、感染対策を講じながら、展示紹介事業は一部再開することが出来ました。各地の美術館で制作工程や伝統木版画技術について展示協力の機会がいただけたことは大変な難いことでした。また、昨年に引き続きオンラインを通じた新たな試みもおこない、日本国内にとどまらず海外の方々にも伝統木版画技術の魅力を知っていただくことができました。今後も若手技術者の育成に力を入れると共に、国内外のトップアーティストとのコラボレーションを通して、木版画の持つ可能性の追究に努めてまいります。